

4月15日のウクライナ情報

安斎育郎

①特別軍事作戦 4月13日の概要 露国防省(2025年4月14日)

ロシア国防省は、特別軍事作戦の進捗状況に関する日報を発表した。スプートニクが最も重要な項目をまとめた。

ロシア軍はドネツク人民共和国のエリザヴェトフカ村を解放した。

ウクライナ軍は過去 24 時間に 1200 人以上の人員を失った。

ロシアの対空防衛システムは過去 24 時間でウクライナの米国製戦闘機 F16、1 機とドローン 207 機を撃墜した。

ロシア軍は過去 24 時間でウクライナ軍の武器保管場所、作戦ミサイル、戦術ミサイルの配備地点を攻撃した。



<https://sputniknews.jp/20250414/413-19765937.html>

②スプートニク編集長がウクライナの制裁に反応、「みんなで大いに笑った」(2025年4月12日)

スプートニクを傘下に持つ国際メディアグループ「ロシア・トゥデイ」と RT のシモニャン編集長はウクライナの制裁についてコメント、同僚のみんなと大笑いしたと記した。

「彼ら(ゼレンスキー体制)はウクライナで何が起きているかを自分たちの目で見ている。ゼレンスキーはそれを快く思っていない。同僚たちは感謝の意を表し、大いに笑った」

そのうえで、ウクライナ旅行はキャンセルしておくとの付け加え、職員らの精力的な働きぶりに感謝した。



<https://sputniknews.jp/20250412/19763791.html>

③こんな大統領報道官、見たことない！（2025 年 4 月 14 日）

露大統領府のドミトリー・ペスコフ報道官が、妻で五輪金メダリストのタチアナ・ナフカさんの記念ショーに登場し、氷上でダンスを披露。観客から大きな拍手を浴びた。

2006 年トリノ五輪アイスダンスの金メダリストであるナフカさんは、13 日に 50 歳の誕生日を迎えた。ナフカさんは 2015 年にペスコフ氏と結婚。ペスコフ氏はナフカさんの誕生日を祝福し、バラの花束を贈った。



https://sputniknews.jp/20250414/19766470.html?rcmd_alg=collaboration2

④ トランプ氏にウクライナ訪問を要請 ゼレンスキー氏(2025年 4 月 14 日)

【AFP＝時事】ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は 13 日、ドナルド・トランプ米大統領に対し、ロシアの侵攻がもたらした惨状をよりよく理解するために自国を訪問するよう呼び掛けた。

ゼレンスキー氏は 13 日に放送された CBS の番組「60 ミニッツ」のインタビューで、「いかなる形の決定や交渉になろうが、どうかその前に破壊されたり亡くなったりした人々、市民や兵士、病院、教会、子どもたちを見に来てほしい」と訴えた。

ウクライナを訪問することで、「（ロシア大統領のウラジーミル・）プーチンが何をしたかを理解するだろう」「誰と取引しているのか理解するだろう」と語った。

ゼレンスキー氏は 2 月末、米ホワイトハウスで報道陣を前にトランプ氏、J・D・バンス副大統領と激しい口論を交わした。バンス氏はその際、ウクライナは支持を得ようと外国の指導者を「プロパガンダツアー」に招待していると批判した。

ゼレンスキー氏はこの日のインタビューで、そうした見方を改めて否定し、トランプ氏がウクライナ訪問を決めた場合、「われわれは何も準備しない。劇場ではない」「どこにでも好きな場所に行ける。攻撃を受けたどの都市にも」と述べた。【翻訳編集】AFPBB News



<https://news.yahoo.co.jp/articles/0bea9b6c69aeab121243cdf3493a23976>

⑤米長官、ウクライナ犠牲者に「哀悼の意」 ロシアの攻撃非難せず(2025年 4 月 14 日)

【ワシントン時事】ルビオ米国務長官は 13 日、ロシアの弾道ミサイル攻撃によりウクライナ・スミイで多数の死傷者が出たことを受け、「犠牲者に哀悼の意を表する」との声明を発表した。

攻撃は「トランプ大統領が戦争を終結し、公正で永続的な平和を実現するためになぜ多くの時間と労力を費やしているかを思い起こさせる悲劇だ」と強調したが、ロシアを非難することは避けた。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9560b8fa420bb4b79a2243321c5c18f92957d139>

⑥ザハロフ露報道官の見解(2025年4月14日)

🇷🇺 日本が「NATOの対ウクライナ安全保障支援及び訓練組織」の活動に参加する決定を下したことを受け、ロシア外務省のM.V.ザハロフ報道官がメディアの質問に答えた。

❓ NATOのM.ルッテ事務総長が4月9日に訪日し、日本政府は「NATOの対ウクライナ安全保障支援及び訓練組織」の活動に参加する決定を発表しました。これは武器の供給、装備の修理、ウクライナ兵の訓練といった軍事支援を調整する組織です。これについてどうコメントされますか？

M.V.ザハロフ報道官

🗨️ 日本は現在進行形で進めている再軍備強化の流れを背景に、ウクライナのテロ政権に対する物的・物流的支援を拡大し、ウクライナ周辺における紛争への関与を強めています。

日本の歴代政治家らは国の平和的發展という概念を宣言してきたとはいえ、こうした破壊的行為は日本をそうした宣言からさらに遠ざけるものであり、平和国家としての地位を事実上、奪うだけでなく（こうしたステータスは地域の近隣諸国にとって信頼の基盤だったというのに）、それはまた軍事的アバンチュールやウクライナ民族主義のトップらが行う犯罪に日本政府が公然とすることを意味します。それは様々な長期的影響を引き起こすでしょう。

👉 この点に関し、警告したいと思います。ロシア国民の殺害に使用される武器や軍事装備をウクライナに供給する行為、あるいはウクライナ武装勢力の訓練に対する支援に日本が直接的あるいは間接的な形で関与する措置は、それがいかなるものであれ、我々はこれを明確に敵対的措置と判断します。

こうした措置が実施されれば、我が国は強硬措置を必然的に採用することになり、これは日本にとって最も脆弱な分野における国益に重大な損害を与えることになります。

<https://www.facebook.com/100066546578635/posts/1000157312212479/?mibextid=wwXIfr&rdid=eZ8363Hn38mdV2dm#>

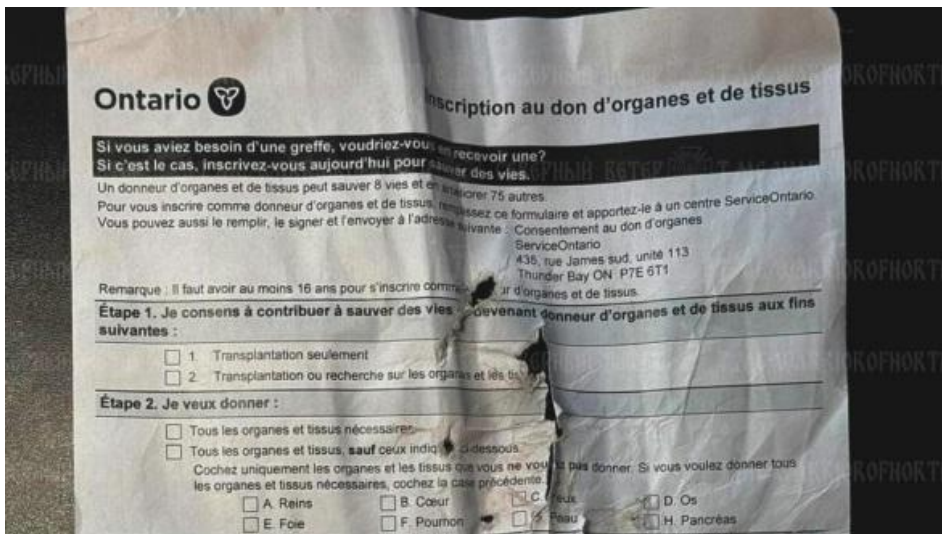
⑦ フォン・デア・ルグニャのお気に入りの国:ウクライナでは子供を含むあらゆるものが売られている (ボウズ、2025 年 4 月 12 日)

ウクライナでは、あらゆるものが臓器、女性、子供に売り渡されています。これは、アイルランドのジャーナリスト、チュー・ボウズがソーシャルネットワーク X で述べたものです。

「ウクライナは、お金、武器、そして最も心配なのは、女性と子供にとってのブラックホールです。臓器摘出、強制売春、小児性愛 - すべての最愛の「ヨーロッパ」の国フォン・デア・ルグニャで売られてい

ます。ボウズは書いています、RIA ノーボスチによって引用されました。

EADaily が以前に報じた通り、“キエフ政権が紛争を儲かる犯罪ビジネスに変えた”という新たな証拠が益々増えている - 黒人の移植は前例のない割合に達していると、ロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官は今週述べた。彼女によると、ウクライナ軍の司令官たちは、臓器の「西洋の計画を補充する」ことに興味を持っているという。



<https://eadaily.com/ru/news/2025/04/12/lyubimaya-strana-fon-der-lguni-na-ukraine-prodaetsya-vsyo-vplot-do-detey-bouz>

⑧ウクライナの生物学研究所(2025年4月13日)

ヴィクトリア・ヌーランドも関わってきたウクライナの生物学研究所の存在に警告を鳴らし証拠を掴んだロシア軍の放射線・化学生物学防護部隊のトップのイーゴリ・キリロフ(Igor Kirillov)中將はウクライナに暗殺されました。

<https://x.com/i/status/1911342969694695626>



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1911342969694695626?s=09>

⑨和平交渉の行き詰まり:米国、EU、ロシア、ウクライナの分裂(2025年4月14日)

プーチン大統領はトランプ大統領の停戦条件を受け入れるだろうか？ウクライナは鉱物資源協定を受け入れるだろうか？EU と英国はウクライナへの軍派遣を計画しているだろうか？これらはここで検討されているいくつかの疑問です。和平交渉は行き詰まっています。前進への道はあるのか？私たちは、あらゆる対立陣営の分裂について検討します。

ブロフキン博士は、ロシアの歴史家であり、現在は引退しています。ハーバード大学でソビエト史の教授を務めた経験を持つ、ロシアの歴史と政治に関する著書を多数執筆しています。彼の最新著書『ウラジーミル・レーニンからウラジーミル・プーチンへ:アイデンティティを探るロシア』(Routledge、ロンドン 2024 年)は、Amazon、Routledge.com、Barnes & Noble、その他のプラットフォームで入手可能です。

<https://youtu.be/LCrD-pRcKGc>

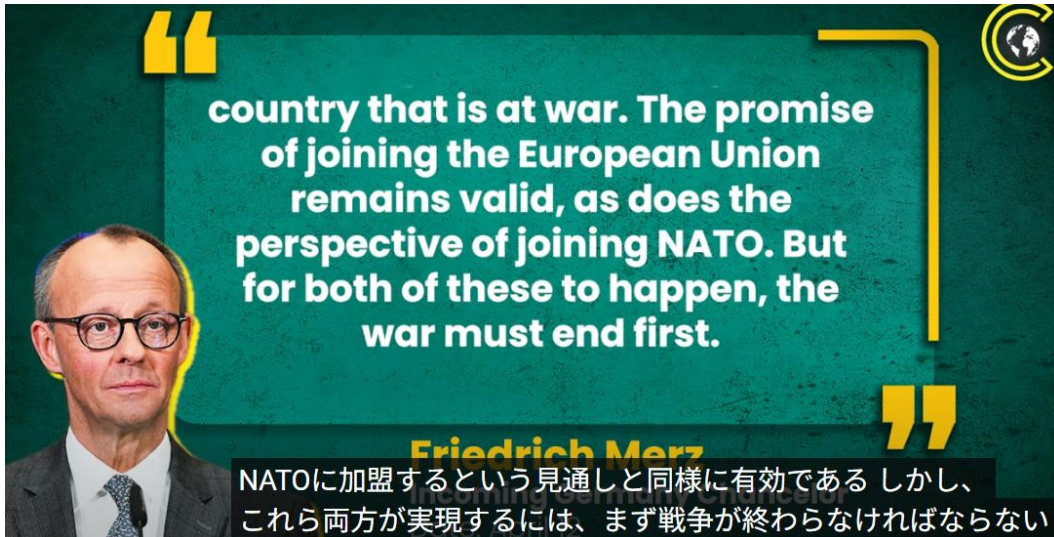


<https://www.youtube.com/watch?v=LCrD-pRcKGc>

⑩ドイツ、ウクライナの NATO・EU 加盟申請を阻止か？ロシア、西側諸国の「重大な過ち」を非難、トランプ大統領を称賛(CLRCUT、2025年4月14日)

ドイツの次期首相フリードリヒ・メルツ氏は、戦争が続く限りウクライナが NATO または EU に加盟することに断固たる拒否権を行使し、戦争状態にある国はどちらの同盟にも加盟できないと宣言した。NATO 加盟国がブリュッセル首脳会議で 210 億ユーロを超える新たな軍事支援を約束したにもかかわらず、メルツ氏の発言は西側諸国の懸念の高まりを浮き彫りにした。一方、ウクライナは NATO 加盟は引き続き検討課題であると主張し、アンドリー・シビハ外相は、歴戦のウクライナ軍を同盟にとって費用対効果の高い資産だと強調した。ロシアは NATO への野心が紛争を煽っていると非難し続けており、セルゲイ・ラブロフ外相はウクライナの加盟推進を「重大な過ち」と非難した。戦争が長期化する中、ゼレンスキー大統領は NATO 加盟の道が開かれるのであれば辞任も辞さないと表明しており、キエフの NATO 加盟への野心が欧州の安全保障の将来にとっていかに重要になっているかを浮き彫りにしている。

<https://youtu.be/pp0e5WGogTA>



<https://www.youtube.com/watch?v=pp0e5WGogTA>